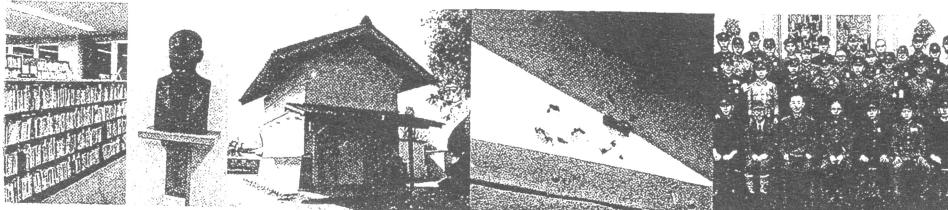


(1)

2020.2.3.

DVD上映会 開催

戦争中「本」を守った人々がいた。



この素晴らしい実話を語り継がなければいけない。

1944年都立日比谷図書館長に就任した中田邦造は、蔵書26万冊の一部を奥多摩の多西村(現あきる野市)と埼玉県志紀町(現志木市)に疎開することを検討した。しかし、それを運ぶ人手も戦地に取られ、当時の都立一中生(現日比谷高校生)たち26名が動員された。さらに中田は、この際、民間人が蒐集している貴重な本も買い上げ、疎開させるべきだと提案。加賀豊三郎、諸橋轍次、井上哲次郎などから貴重本を買い上げ疎開させた。やがて運命の1945年(昭和20年)5月25日を日比谷図書館は迎える。この大空襲によって蔵書209,040冊は、図書館と運命をともにした。だが、中田が買い上げた民間貴重書と蔵書の一部を併せたおよそ40万冊の本は、奥多摩と埼玉県志木市の蔵の中で助かったのである。

特典映像：1. 本編の予告 2. 第2弾「ウォーナーの謎のリスト」予告編

証言者：阿刀田高、早乙女勝元ほか ナレーション：長塚京三 声：金井 節、京井 幸、黒岩拓朗、名取誠之、寺澤美央
監督・編集：金高謙二

プロデューサー：森島恒行、小田部優 撮影・録音：金高謙二 花井ひろみ 音楽：ブッチャード歌劇「ジャンニ・スキッキ」より私のお父さんほか
製作協力：ディレクターズシステム 製作：シネマボックス 宣伝プロデューサー：新田道昭 パブリシティ：キャノンボール
原作：「疎開した四〇万冊の図書」幻劇書房刊 金高謙二著 協力：千代田区立日比谷図書文化会館 2013年／カラー作品／102分

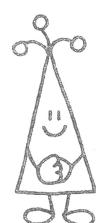


2019年6月1日(土)に「疎開した40万冊の図書」を、7月27日(土)に「ウォーナーの謎のリスト」を、
「松戸市子ども読書推進セミナー」で上映会を開催しました。
ご参加の皆様から寄せてくれた感想を掲載致します。

尚 DVDの紹介文の掲載については、製作会社からの快諾を頂きました。感謝申し上げます。

① 疎開した40万冊の図書

本を守ろう、文化を残そうとい
う熱い思いがプロジェクトを完遂
させた、させてくれたのだと知り
ました。中田邦造さんについて免
強してみようと思います。
取材に協力して下さったすべて



(2) の方々の声から、日本が被災した戦争の戦禍にみまわれたのだといふことをひしひしと感じ、時代を越えて人々の手を通して、今我々がその姿(本)に出逢える奇跡をしつかりと伝えて、語り継いでいかなくてはいけないと強く感じました。

我が国にとって70余年前の出来事が、世界を見渡せば今世紀にも起きている。戦争の無い世界の平和を祈らずにはいられません。

3.11 東日本大震災の後、息子が読んだ本を仙台へ送った事を思い出しました。様々な角度から本の魅力を伝え、頂き、ありがとうございました。今後共「おーい図書館」の活動を応援します。宣一くお頼いします。

㊀ 高田馬場の社会福祉法人日本点字図書館を先日見学しました。点字本の陳列について知る機会を得ました。

平淑美

増田薰

子どもの頃から本が好きでした。近所にある練馬図書館に、散歩から父に連れて行かれて親しくしていました。大人になつて、図書館の仕事をつけた事を嬉しく思っていました。

今日の映像を見せて貰いて、本(文化財)の重要性を重く考えて、方々がおられた事を、とてもありがとうございました。

知りたいと思つ時に知る事が出来る書物がある幸せ! より 層、図書館(本)の重要性を感じています。

古野信次

戦争中、「本」を守った人々がいたと、少し聞いたことがあります。しかし文化や貴重な文献を守ることで、「よい」・「重い」言葉でした。

お村宏子

本は宝物ですね。
戦火を逃れた貴重な書物。一方

極限状態になると、人はすぐい事を考えるものだと感じます。

母方の祖母は、戦前通りに爆弾が落ちて大きな穴が開いた時、とつさに紙とエンピツを持ってスケッチをしたそうです。すると、憲兵にスパイを疑われ、1ヶ月帰つて来なかつたと母が話してくれました。

陸前高田では、知り合いの気仙大工(岩手で伝統工法を継承している大工の総称)が、3.11で古い文献が相当流出したのが「財産」の大半が損失だとやっしゃっていました。でも、これは災害。戦争は人災です。「戦争を止める」としてしか文化や貴重な文献を守る事はできない」と重く言葉でした。

(4)

②ウォーナーの謎のリスト

平淑美

とても深い映像で、何と言つて
よく知つて親しんだ方々が、日本
の文化財を守つて下なつたのだと
知りました。知らない事ばかりで
したので、歴史の一端を知る事が
出来て良かったです。

焼け野原になつた中で残つた建物
があつたという事は、戦火から
守つうといつ考えを持つていらへ
かいたとこう事ですね。

タヌ和久美子

文化財は、長い歴史の中で残つ
て来た人類の宝です。それを引き
継がなくてはいけませんね。

貴重な映像を、あいかどうこが、

「20世紀は戦争の世纪！」

「朝河貫一氏」の存在も全く
知りませんでした。セントケイ！
エリヤーエフン”ラングドン。
ウォーナー等々、貴重な文献
文化を守るために貢献された方
々がいらっしゃったのです。

図書館や、本の大切さの再認識
しました。

古閥とし子

金体を見て、戦争は絶対に避け
なければいけないと強く思つた。
文化を愛する多くの人々の力を
あらためて知ることが出来ました。
今回初めて知ることが出来た人
もあり、感謝します。

荒木美津子

知らない情報がいっぱい詰ま
つたDVDで、とても勉強になりました。

「記録しておくれ」というのは、
すこいことですね。

神田を代表する古書店に勤務し
ていた藤井正さんは入隊先で、本
好きで神保町に通つたといつ若
将校に出会い、後年、彼とのエピソ
ードを「私の日本人人生」に記した。

古書保子

機会があれば、読んでみたい。